

その症状睡眠時無呼吸症候群かも！？ ～複十字病院SASセンター診療案内～

いびきをかく

日中倦怠感
を感じる

SAS治療センターの紹介

当院SAS治療センターでは、
睡眠専門医が
睡眠時無呼吸症候群 (SAS)
の診断と治療を行っています。



SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

① SASにおける2つの重大問題!

睡眠中の無呼吸により、体内の酸素が不足して様々な臓器に負担をかけ、**心筋梗塞や脳梗塞**などの重篤な合併症を引き起こす原因となります。さらに、無呼吸と引き続く“いびき”で生じる“低酸素のゆらぎ”は**糖尿病や動脈硬化**を引き起こします。

これらは、死亡につながる重大な問題であるとともに、認知症の背景ともなることが明らかになっています。

SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

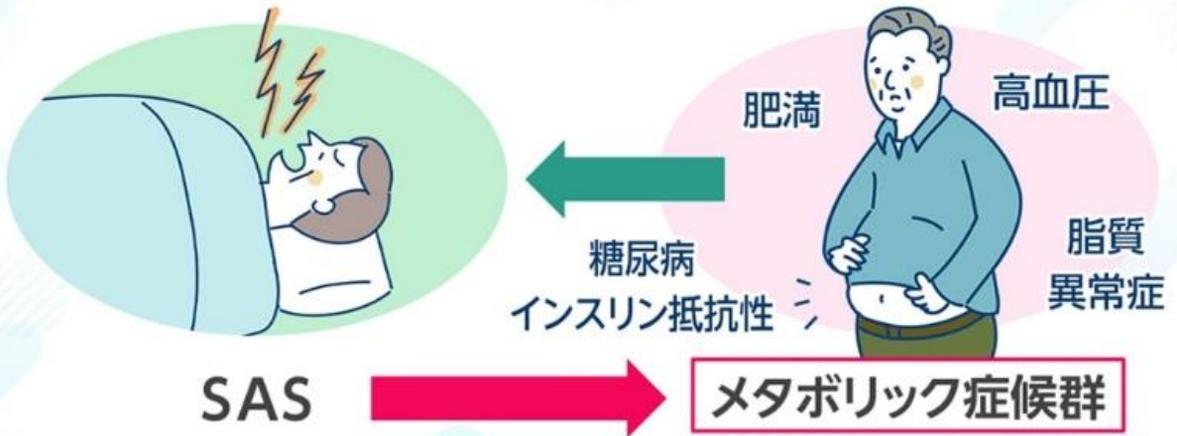
② SASにおける2つの重大問題!

睡眠中の無呼吸やいびきによって良質な睡眠が妨げられ、**日中傾眠、交通事故、学業成績低下**などを引き起こすことが明らかになっています。

これらは、個人の健康問題にとどまらず、交通事故や作業事故などの社会問題を引き起こすこととなります。

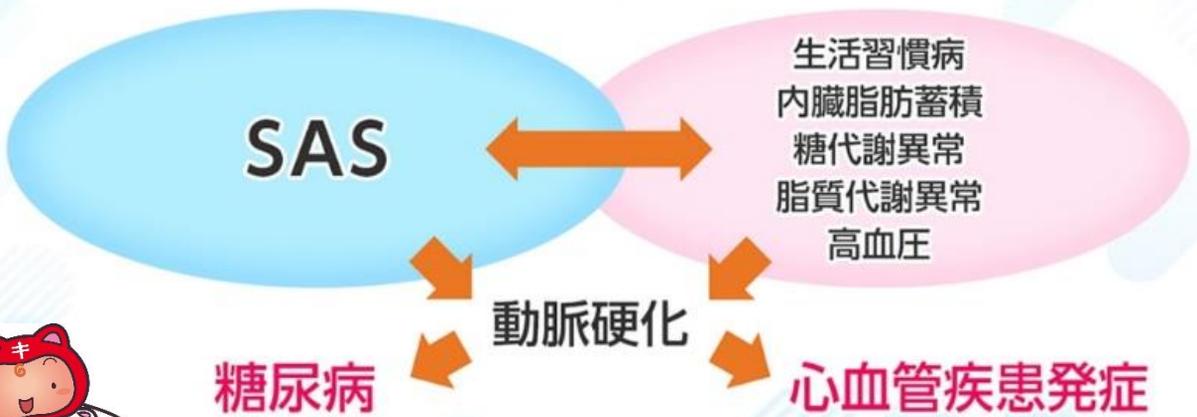
SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

SASとメタボリックシンドロームとのかかわり



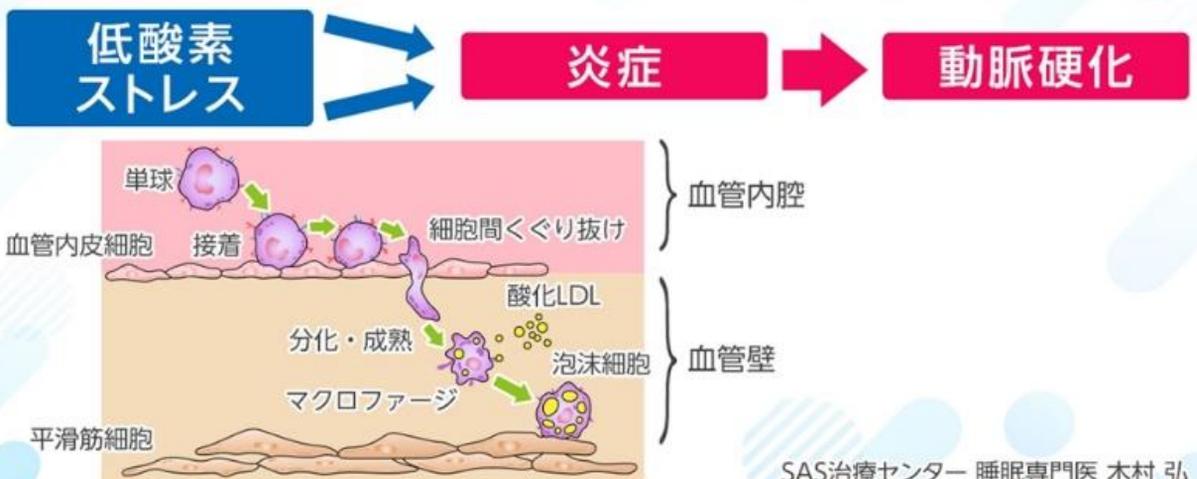
SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

SASにおける心血管疾患発症進展のメカニズム



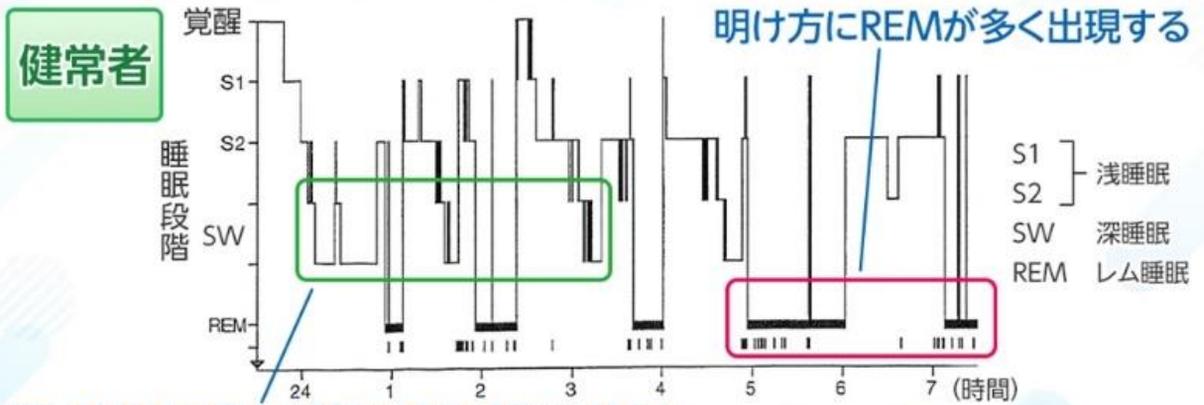
SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

SASにおける低酸素ストレスと動脈硬化発生における単球/マクロファージ



SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

SAS患者では睡眠の質が悪化しています

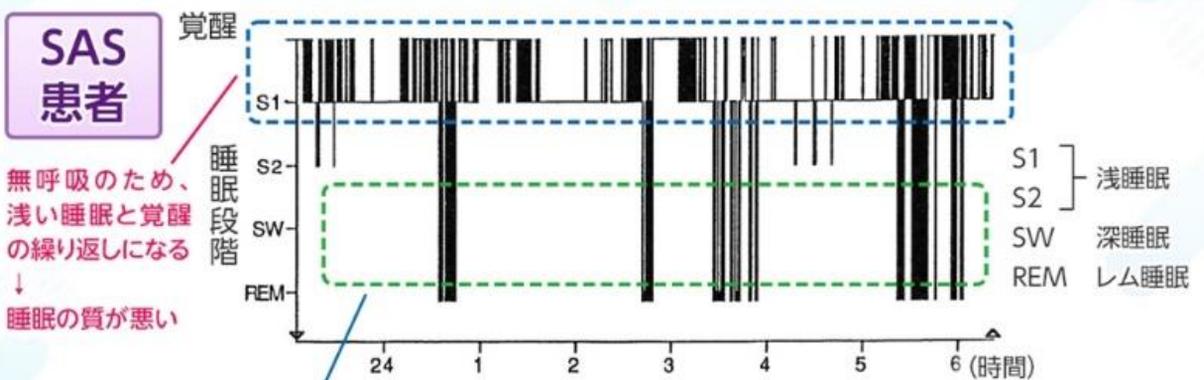


眠りはじめに深い睡眠(良質の睡眠)が多い

引用: Principles and Practice of Sleep, Medicine, Saunders,

SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

SAS患者では睡眠の質が悪化しています



深い睡眠がみられない(無呼吸で覚醒が引き起こされるため深睡眠に達しない)

引用: Principles and Practice of Sleep, Medicine, Saunders,

SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

SAS治療センター

SAS治療センターでは、SASの診断と治療を行っています。

診断

自宅でのSAS簡易モニター検査

1泊2日の検査入院 (ポリソムノグラフィー)

- 午後入院、翌朝に退院となります。
- 無呼吸の診断とともに、睡眠の質も診断します。



SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

SAS治療センター

SAS治療センターでは、SASの診断と治療を行っています。

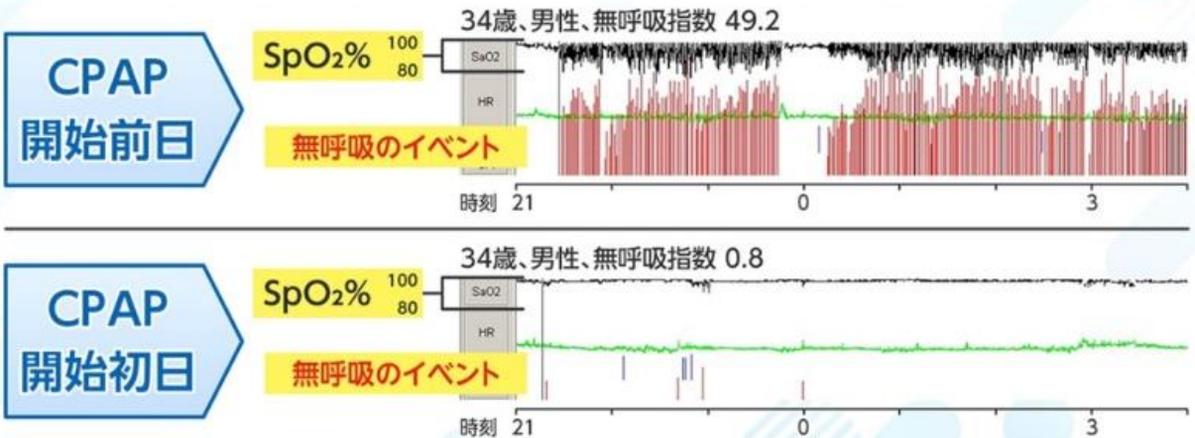
治療

SASと診断された場合には、SASの原因を探り治療を開始します。重症度に応じて、**シーパップ (CPAP)** という内科的治療をはじめ、個々の患者さんに最適な治療法を提案します。



SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

CPAPにより無呼吸と睡眠の質は直ちに改善します



※SpO₂=酸素飽和度、無呼吸指数=睡眠1時間あたりの無呼吸回数

SAS治療センター 睡眠専門医 木村 弘

SAS専門外来は月・火・木の午前 金の午後です

紹介状をお持ちでない初診の方もおかかりになれます。

まずはお気軽にお問合せください。

予約センター:042-491-6228

月～金8:30～17:00 土8:30～12:15

※紹介状をお持ちでない方は特定初診料7,700円(税込)がかかります

